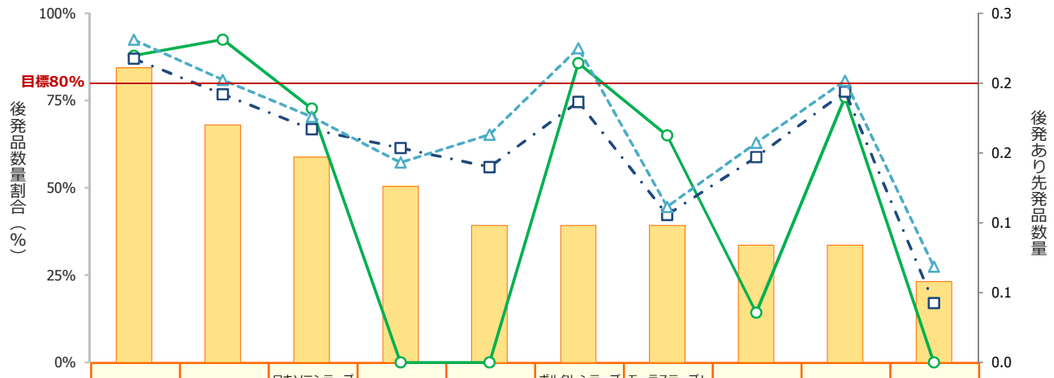
6.貴医療機関における後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品

後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品をお知らせします。
国目標80%に達していない医薬品は、特に一般名処方など後発品の使用促進に
ご協力をお願いします。

（単位：千）



	ムコスタ錠１００mg	ロキソニン錠６０mg	ロキソニンテープ１００mg　１０cm×１４cm	ソラナックス０．４mg錠	デパス錠１mg	ボルタレンテープ３０mg　１０cm×１４cm	モーラステープＬ４０mg　１０cm×１４cm	デパス錠０．５mg	アイミクス配合錠ＨＤ	バナン錠１００mg
後発あり先発品数量	211	170	147	126	98	98	98	84	84	58
数量割合 後発品 貴医療機関	87.8%	92.5%	72.7%	0.0%	0.0%	85.7%	65.0%	14.3%	76.0%	0.0%
数量割合 後発品 県平均	92.4%	80.9%	70.3%	57.3%	65.3%	90.0%	44.6%	62.9%	80.7%	27.4%
数量割合 後発品 全国平均	87.0%	76.8%	66.8%	61.4%	56.0%	74.6%	42.3%	58.8%	77.6%	17.0%

先発品から後発品に変更後、患者に副作用が発生した場合の責任は？

医師が先発医薬品を適正に処方し、変更不可欄に「レ」または「×」の印等のない処方箋について、薬剤師が適正に先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した場合には、仮にその医薬品により副作用被害が発生したとしても、医師や薬剤師にその副作用の責任が生じるものではありません。

適正に使用したにもかかわらず副作用による一定の健康被害が生じた際には、先発医薬品、ジェネリック医薬品のいずれの使用であっても、製造販売業者の社会的責任に基づく拠出金等を財源とした「医薬品等副作用被害救済制度（※）」の対象となり得ます。ジェネリック医薬品であるという理由で救済制度の対象から外れるということはありません。

※医薬品等副作用被害救済制度についてはPMDAのホームページをご覧ください。

厚生労働省：「ジェネリック医薬品への疑問に答えます　～ジェネリック医薬品Q&A～」より

別添１－１

ジェネリック医薬品に関するお知らせ（院外版）

～貴医療機関の処方状況について～

〒862-8520
熊本市中央区水前寺1-20-22
水前寺センタービル

●●●●●●●●●●病院　御中

全国健康保険協会　　熊本支部
〒862-8520
熊本市中央区水前寺1-20-22
水前寺センタービル　2階
TEL：　096-340-0261

全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営につきまして、平素より格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年6月の閣議決定において「2020年9月までにジェネリック医薬品（以下、後発品）の使用割合を80%以上とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」と定められました。

協会けんぽといたしましても、加入者の方のお薬代や保険料の負担軽減に繋がることから、後発品の普及促進の取組を積極的に進めています。この取組の一環として、協会けんぽ加入者の方のレセプトを集計し、地域における後発品使用割合等について、医療機関様へ情報提供を行っております。

後発品の取扱をご検討される際の参考資料として、ご活用いただければ幸いです。

1.協会けんぽ加入者への処方状況

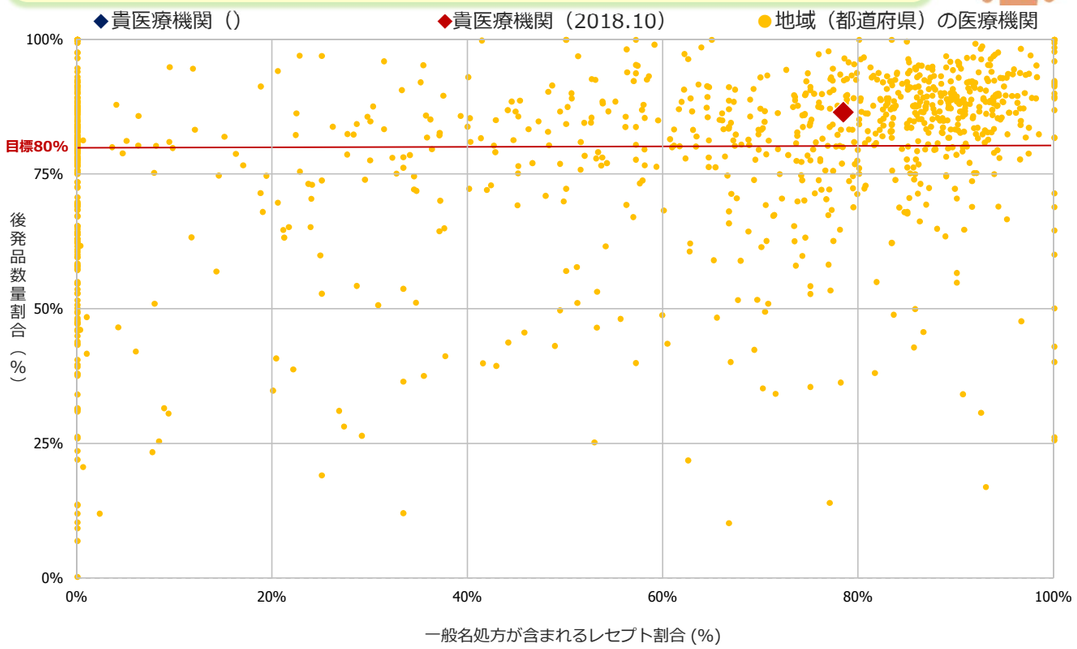
「貴医療機関」「二次医療圏」「県平均」の後発品にかかる処方状況をお知らせします。

●●●●●●●●●●●●病院		院外処方		
		貴医療機関	二次医療圏平均	県平均
人数	貴医療機関にて処方箋を発行した協会けんぽの加入者数	237 人	185 人	177 人
	後発品が処方された加入者数	179 人	150 人	146 人
	後発品が処方された加入者割合	75.5 %	81.3 %	82.0 %
数量	貴医療機関にて発行した処方箋の薬剤数量	17,182	25,150	23,967
	後発品のある先発医薬品の処方数量	1,814	3,514	3,484
	後発品の処方数量	11,603	13,526	13,003
	後発品数量割合	86.5 %	79.4 %	78.9 %
金額	貴医療機関にて発行した処方箋の薬剤金額	649,567 円	1,429,381 円	1,210,622 円
	後発品の薬剤金額（10割）	177,028 円	248,788 円	239,651 円
	後発品金額割合（10割）	27.3 %	17.4 %	19.8 %

※本紙に掲載している情報は、協会けんぽ 平成30年10月診療分の医科レセプト、調剤レセプトにもとづいて作成しています。
※貴医療機関にて発行された処方箋にヒモ付く調剤レセプトを用いて処方数量や薬剤金額等を集計しています。

2.後発品数量割合と一般名処方が含まれるレセプトによる貴医療機関の位置づけ

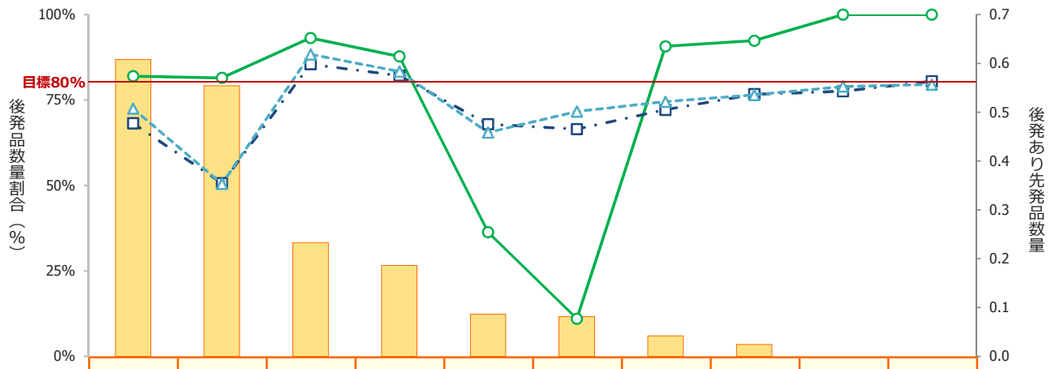
「後発品数量割合（縦軸）」と「一般名処方が含まれるレセプト割合（横軸）」をもとに
貴医療機関の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にしていただくとともに、
一般名処方へのご理解、ご協力をお願いします。



3.貴医療機関の薬効分類別後発品数量割合

貴医療機関における「後発あり先発品」の数量が多い薬効分類上位10種をお知らせします。
国目標80%に達していない薬効は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。

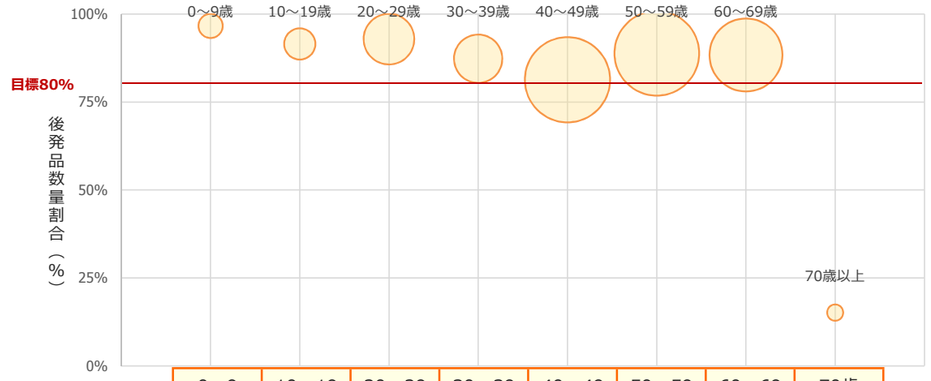
（単位：千）



		中枢神経系用薬	外皮用薬	消化器官用薬	循環器官用薬	抗生物質製剤	感覚器官用薬	アレルギー用薬	その他の代謝性医薬品	末梢神経系用薬	呼吸器官用薬
	後発あり先発品数量	608	554	233	186	86	81	42	24	0	0
後発品数量割合	貴医療機関	82.0%	81.4%	93.1%	87.8%	36.3%	11.0%	90.7%	92.4%	100.0%	100.0%
	県平均	72.4%	50.4%	88.4%	83.4%	65.4%	71.6%	74.5%	76.5%	79.0%	79.5%
	全国平均	68.2%	50.6%	85.4%	82.1%	67.9%	66.5%	72.1%	76.7%	77.6%	80.5%

4.貴医療機関の年齢別後発品数量割合

貴医療機関における年齢別後発品数量割合をお知らせします。
国目標80%に達していない年齢については、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
数量①＋②	296	494	1,305	1,187	3,674	3,635	2,694	132
①後発あり先発品数量	10	42	93	151	686	406	314	112
②後発品数量	286	452	1,212	1,036	2,988	3,229	2,380	20
後発品数量割合	96.6%	91.5%	92.9%	87.3%	81.3%	88.8%	88.3%	15.2%

※円の大きさ＝後発あり先発品数量＋後発品数量

5.貴医療機関の処方せん受付薬局状況

貴医療機関にて発行した処方せんの受付人数が多い上位5薬局の後発品にかかる調剤状況を
お知らせします。

（単位：千）

	◎◎◎◎薬局	-	-	-	-
後発あり先発品数量	1,814	-	-	-	-
後発品数量	11,557	-	-	-	-
後発品数量割合	86.4%	-	-	-	-